

2012

# 環境報告書

EXEDY Corporation Environmental Report



**EXEDY**  
株式会社 エクセディ



## CONTENTS

会社概要	1
環境理念・方針	2
環境マネジメント	3~4
生産・製品における環境保全活動	5~6
生産・製品におけるCO <sub>2</sub> 削減への取組み実施例	7~8
社会との共生	9~10

### ■対象期間

2011年度(2011年4月1日~2012年3月31日)を対象としていますが、この期間外であっても、必要と判断した事象も含めて報告しています。

### ■対象組織

国内事業所の本社・上野事業所・川越工場を対象範囲としています。また、関係会社の活動状況についても一部紹介しています。

### ■編集方針

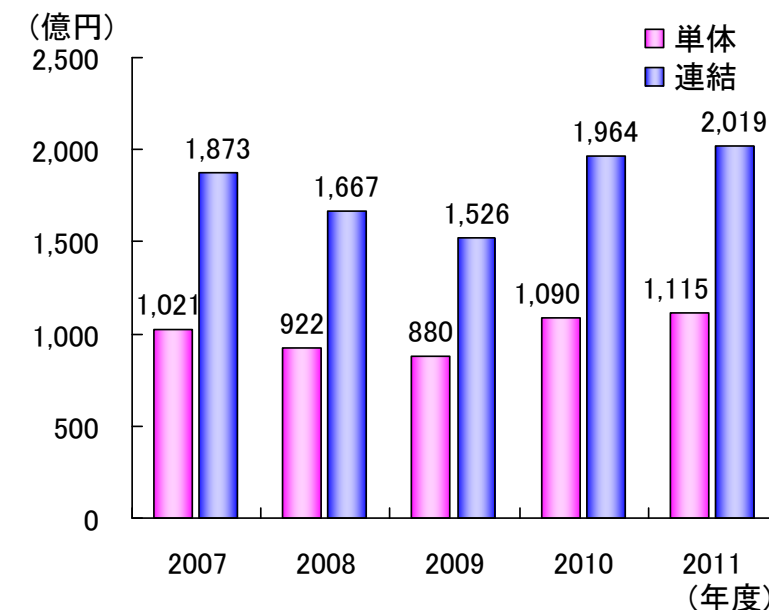
社会との共生では、社会貢献に加えて労働安全衛生等の取組み事例について紹介しています。本報告書の作成に当たっては、環境省の「環境報告書ガイドライン」を参考にしています。



表紙の写真は、2012年2月に竣工された新本館です。この新本館は、環境に配慮した建物で、大阪府「建築物環境配慮指針」に基づくCASBEE(建築物総合環境性能評価システム)において「Sランク」となっています。

## 会社概要

商号 株式会社エクセディ  
 英文社名 EXEDY Corporation  
 設立 1950年(昭和25年)7月1日  
 資本金 8,284百万円  
 取締役社長 清水春生  
 グループ社員数 約15千名  
 売上高推移 (数値は2012年3月31日現在)



**国内事業所** 本社(大阪府寝屋川市)  
 上野事業所(三重県伊賀市)  
 川越工場(埼玉県川越市)

### 連結対象会社

国内 北海道・広島等 計11社  
 海外 欧米・アジア等 計24社  
 総数 35社(持分法適用会社含む)

## 主要製品

**AT事業:** 自動変速装置部品



**MT事業:** 手動変速装置部品



**TS事業:** 建設・産業車両、農機・商用車用装置部品



## 環境理念

エクセディは、自然と社会との共生を実現するために、企業理念=『喜びの創造』を追求し、企業活動の全ての面において、地球にやさしい環境づくりに努めます。

## 環境方針

エクセディ環境理念に基づき、生産・製品・サービスの分野において、環境マネジメントシステムを実行し、環境問題の未然防止と継続的改善活動を積極的に推進します。

- 1) 環境に関する法令・条例・協定および同意したその他の要求事項を遵守します。
- 2) 産業廃棄物の削減と資源の有効利用を推進します。
- 3) 環境に配慮した製品開発とものづくりにおいて、地球温暖化防止と環境負荷物質の廃止・削減を推進します。
- 4) 地域の環境改善への参加・支援に積極的に取り組みます。
- 5) この環境方針は、すべての従業員に周知させるとともに、社外に開示します。

制定 2007年4月1日

取締役社長 清水春生

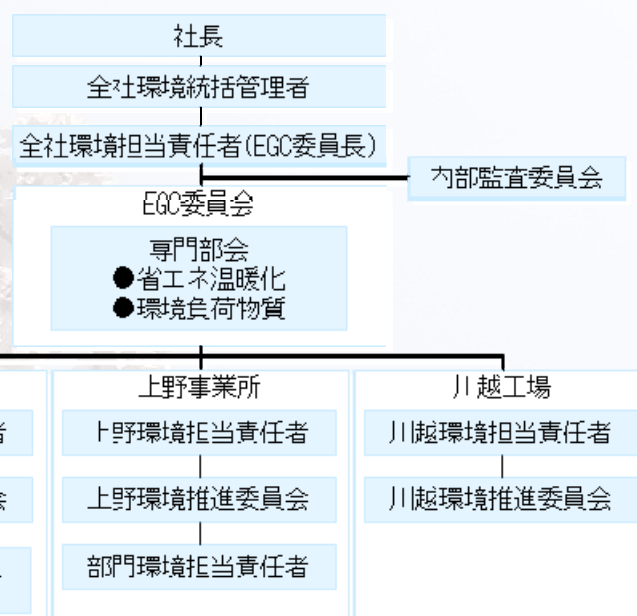




# 環境マネジメント

## ■ 環境マネジメント体制

エクセディでは、全社環境担当責任者を委員長とするEGC委員会（EGC:EXEDY Global Clean）を中心にマネジメント体制を構築し、全社環境方針の策定や活動状況の管理を実施しています。



JQA-EM0901

## 2011年度実績と2012年度目標

項目	2011年度		2012年度
	目標	実績	目標
省エネ活動 ・1990年度比CO <sub>2</sub> 排出量7%減 ・原単位※120%減 (2008年～2012年度5年間平均値で評価)	原単位 :38.1トン-CO <sub>2</sub> /億円	原単位: 前年度比4%減 40.1→38.7トン-CO <sub>2</sub> /億円	原単位 :38.0トン-CO <sub>2</sub> /億円
3R※2の推進 「新ゼロエミッション」達成	原単位:前年度比3%減 産廃排出量:0.15トン/ 億円	原単位: 前年度比11%増 0.16→0.17トン/億円	原単位:前年度同一目標 産廃排出量:0.15トン/億円
	リサイクル率:98%	リサイクル率:94%	リサイクル率:98%
環境負荷物質の削減・廃止及び管理	※3 PRTR法に基づく管理	行政及び部工会※4 へ報告	PRTR法に基づく管理
車両の燃費向上に貢献する製品開発	2次試作の評価と量産移行・受注の獲得	量産納入済み	低燃費製品第2段量産開始
環境負荷物質の削減 (有害物質の全廃)	補修部品の6価クロム・鉛廃止推進の継続	6価クロム順次廃止 継続中	補修部品の6価クロム・鉛廃止 推進の継続

※1 原単位:CO<sub>2</sub>排出量/売上高 ※2 3R:リデュース・リユース・リサイクル ※3 PRTR法:化学物質の排出・移動量届出制度 ※4 部工会:日本自動車部品工業会

## ■ 環境会計 ～環境活動への費用・投資～

環境に対する取り組みを効果的に推進していくために、環境保全コストとその活動により得られた環境保全効果と経済効果を表しています。

### 2011年度環境保全コスト

(単位:百万円)

コスト項目	投資	費用	主な取り組み内容
公害防止	92	71	浄化槽増強, 土壌浄化
地球環境保全	415	1	太陽光発電パネル・高効率照明・高効率空調導入
資源循環	0	95	廃棄物処理・リサイクル処理
管理活動	0	17	環境月間イベント, ISO更新審査
研究活動	0	178	低燃費化製品・再資源化材料の開発, 軽量化
社会活動	32	24	事業所内の緑化, 防災公園の設置
合計	539	386	
総計		925	

### 環境保全に伴う経済効果と物量効果

<経済効果>

(単位:百万円)

効果項目	2009年度	2010年度	2011年度
CO <sub>2</sub> 削減の低減	17	103	49
廃棄物処理費用の低減	41	0	14
有価物の売却	582	1,014	881
合計	640	1,117	944

<物量効果>

効果項目	2009年度	2010年度	2011年度
産業廃棄物排出量※5	500トン	172トン	194トン
CO <sub>2</sub> 排出量	37.5千トン-CO <sub>2</sub>	43.7千トン-CO <sub>2</sub>	43.2千トン-CO <sub>2</sub>

※5 産業廃棄物排出量は、リサイクル分除く

## ■ 環境監査 (ISO14001)

部門自主監査、定期内部監査、外部機関による審査の3段階による監査及び審査を実施しています。

### ISO14001定期審査

2011年5月24日～27日の4日間にわたり、JQAによるISO14001定期審査が行われました。今回の審査では「省エネ7つの着眼点」に基づいた活動などが高く評価されました。今回指摘を受けた項目については、各部門へ水平展開し、さらなるシステムの改善を進めます。

<<審査及び監査結果>>

年度	年度	重大な不適合	軽微な不適合	改善の機会
		2011	定期審査 (2011/5月)	0件
	内部環境監査 (2012/3月)	1件	16件	47件



# 生産・製品における環境保全活動

～最少エネルギーと最少材料で～

## エネルギー

- 電力: 133,063 千kWh
- 灯油: 215 kℓ
- ガソリン: 171 kℓ
- 軽油: 171 kℓ
- 都市ガス: 95 千m<sup>3</sup>
- LPG: 683 ト

## 購入材料

- 鋼材: 121,522 ト
- 鋳物: 8,356 ト
- 鍛造: 13,391 ト
- 摩擦材: 27.4 百万枚

## 水資源

- 上水: 145 千m<sup>3</sup>
- 工業用水: 133 千m<sup>3</sup>



**製品**  
年間出荷台数:  
15 百万台



プレスライン

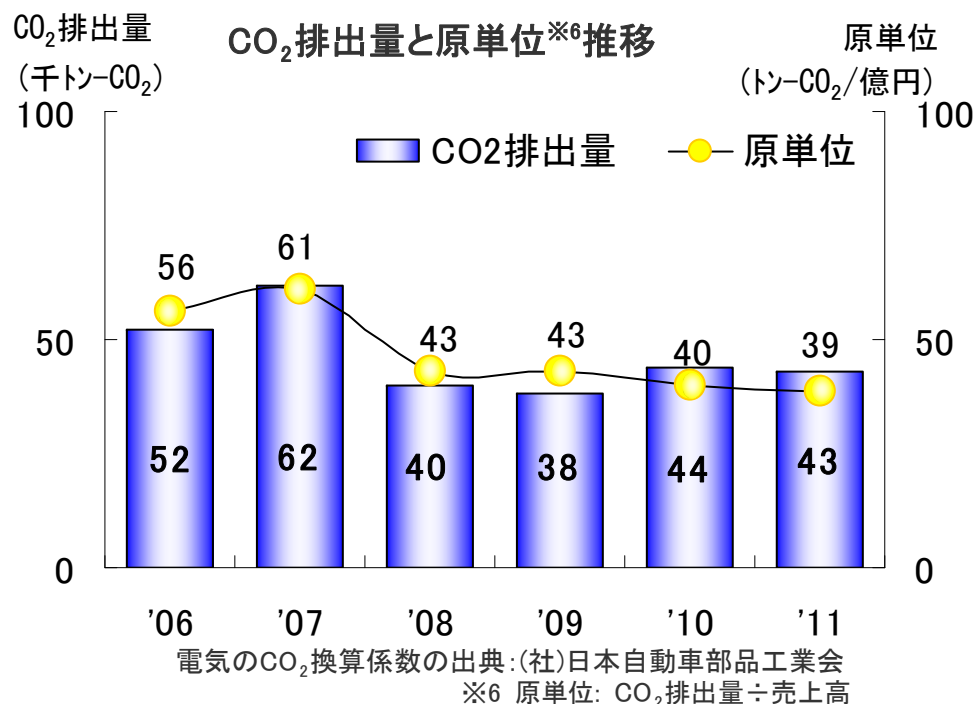
鋳造ライン

加工ライン

組立ライン



スクラップ(再資源)  
社内リサイクル:  
13,346 ト



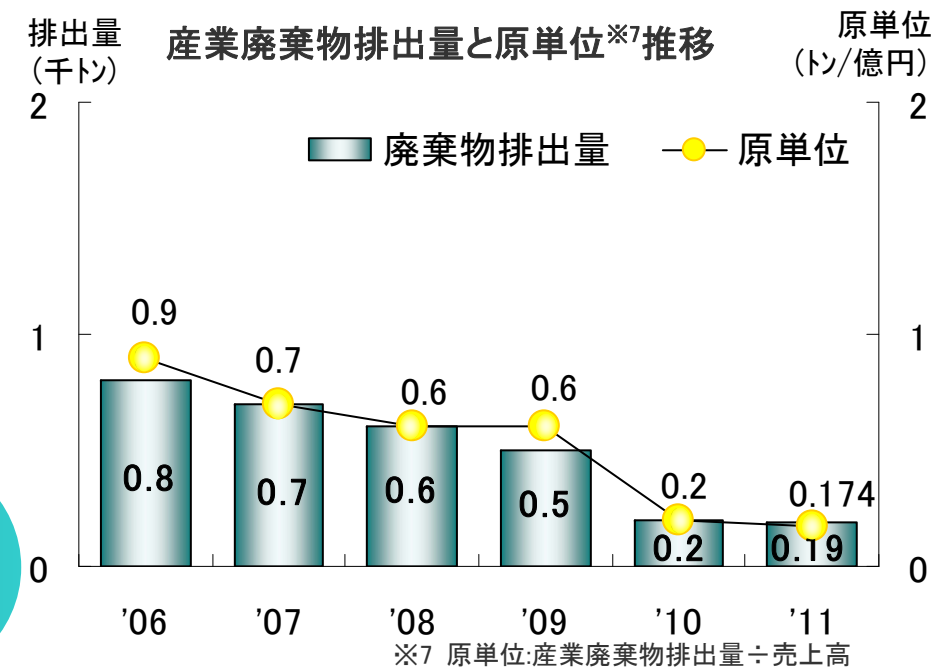
**Output**

CO<sub>2</sub>排出  
43,174 ト

外部委託  
埋め立て  
160 ト

外部委託  
中間処理  
33 ト

外部委託  
再資源化物  
36,687 ト





# 生産・製品におけるCO<sub>2</sub>削減への取り組み 実施例（2011年度）

当社の本業であるものづくりの中で、素重、取りしろ削減、軽量化を進めるとともに、「省エネ7つの着眼点※8」に基づき、省エネ・CO<sub>2</sub>削減に向けた施策を進めています。

※8 省エネ7つの着眼点：「きめる」、「とめる（やめる）」、「なおす（もどす）」、「へらす（さげる）」、「わける」、「かえる」、「ひろう」

## ■きめる

### 運用管理によるエネルギー削減

鑄造生産支援システムにより、最適な操業スケジュールを決めることで、保温・湯待ちロスをなくし、ムダな電力削減（CO<sub>2</sub>削減量：224.4ト/年）しました  
（M&T製造本部）



## ■とめる

### 冷却水ポンプのインバータ化による電力削減

加熱炉用冷却水ポンプにインバータを取り付け、必要流量を供給できるように電力調整して運転し、電力（CO<sub>2</sub>削減量：3.5ト/年）を削減しました。  
（AT製造本部）

インバータにより適正な電力で冷却水を供給



## ■なおす

### エア漏れ撲滅活動による電力削減

計画的にエア漏れ改修を実施することにより、消費電力（CO<sub>2</sub>削減量：343.2ト/年）を削減出来ました。  
（M&T製造本部、AT製造本部）

こまめな活動が大きな成果を生みます

## ■わける

### 冷却水バルブ切替による電力削減

2系統の冷却水配管を接続、バルブを切替えて使用することにより、冷却塔を1基停止できました。これにより使用電力エネルギー（CO<sub>2</sub>削減量：8.6ト/年）を削減しました。  
（開発本部）

## ■さげる

### 断熱塗装による放熱ロス削減

加熱炉より放熱ロスが多いため、断熱塗装をすることにより炉表面からの放熱ロスを削減（CO<sub>2</sub>削減量：61.2ト/年）をしました。  
（AT製造本部）

断熱塗装により作業環境も改善できました



## ■かえる

### 高効率照明導入

製造現場等で蛍光灯の球切れ交換時に、高効率照明へ変更。使用電力量（CO<sub>2</sub>削減量：14.4ト/年）を削減しました。  
（AT製造本部）

LED照明による少ない電力で明るさを保っています



## ■ひろう

### 風力・太陽光発電パネル設置

本社及び上野事業所の屋根上及び壁面などに計402kWの風力発電及び太陽光発電パネルを設置することにより、使用電力を削減できました。  
（CO<sub>2</sub>削減量：23.9ト/年）  
（本社及び上野事業所）

実験棟屋上に設置されている太陽光発電パネル





# 社会との共生

## ～歩調をあわせて環境・社会貢献活動を～

深刻化する地球環境において、生産活動に伴う環境負荷も高まり、従業員一人ひとりが環境問題に対する認識を一層高める必要があります。また良き企業市民であるために、地域社会への継続的貢献は不可欠です。エクセディグループでは各社の状況に即した活動を展開しています。

### 環境に配慮したエクセディグループ総本山「新本館」が完成

大阪府建築物環境配慮指針に基づく評価:CASBEE(建築物総合環境性能評価システム)にてSランクとなっています。CO<sub>2</sub>削減や省エネルギー対応を意識し、太陽光・風力発電装置を備えているとともに、周辺緑化にも努め、地域の環境にも配慮しています。



風力発電装置



南側外壁に設置された太陽光発電パネル



オフィス照明・空調を人感センサーにより自動制御



非常用電源として自家発電装置を設置



エクセディ防災公園を設置し、地域へ提供



屋外緑化も充実

## ～社会貢献情報～



防災ゾーンに寄贈された太陽光発電式LED街灯



植樹活動に参加した現地スタッフ

### 太陽光発電式LED街灯寄贈

エクセディ本社(大阪府)では寝屋川市防災ゾーンへ太陽光発電式LED街灯を寄贈しました。本街灯は太陽光発電により蓄電・点灯するためCO<sub>2</sub>排出が無く、外部電源を必要としないため、有事の際、光を灯し続ける事ができます。

### 植樹ボランティア参加

水質浄化効果が有り、自然の防波堤となるマングローブ1,000本の植樹ボランティア活動へエクセディタイランド(タイ)が参加しました。植樹を通じて地球温暖化の防止・地域貢献をすべく今後も継続して実施しています。

### 洪水被害救援活動を実施

タイ北部にて発生した大規模洪水被害地域に対してエクセディフリクションマテリアル(タイ)では救援物資を運ぶなど積極的な支援活動を実施しました。

### エイズ・結核防止企業活動

エクセディフリクションマテリアル(タイ)では計画的にエイズ・結核の予防活動やボランティア活動に努めたことでプラチナム賞を受賞。今後も従業員の健康を守り、引き続き活動を継続します。



現地スタッフによる洪水被害支援活動



サワンワタナー王妃記念病院長よりトフィーを授与





# 株式会社エクセディ

〒572-8570 大阪府寝屋川市木田元宮1丁目1番1号

お問い合わせ先： グローバル戦略本部CSR・安全環境管理部CSR・環境管理チーム

編集責任者 西垣 敬三

作成者 松本かよ 濱田徹 水上博晴 牛野美穂 中村正憲

TEL.072-824-1009 FAX.072-822-4145

発行：2012年4月

本誌はエクセディホームページ上でもご覧いただけます。

<http://www.exedy.com>

Printed in Japan



この印刷物に使用している用紙は、  
森を元気にするための間伐と間伐材  
の有効活用に役立ちます。